

もみじ新聞

2年A組28番
坂田美優

広島におきた悲劇

昭和20年(1945年)8月6日午前8時15分、広島に原爆が落とされました。当時日韓併合により朝鮮半島を植民地としていたため、広島の人だけでなく外国の人もたくさん被爆しました。

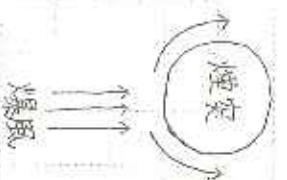
なぜ広島に原爆が落とされたのか

昭和20年(西暦)七月二十五日、原爆投下の命令が下されました。その時、投下目標とされた都市は広島、小倉、新潟、長崎です。その中で広島には連合軍の捕虜収容所がないと思われていたのです。



爆風による被害

爆風は音速よりも速い、秒速四〇〇メートルです。爆心地から三・五キロメートルまでの地域にいた人々に被害を与え、二キロメートル以内には体の内部組織まで大きな被害を受けました。また、爆心地から約二キロメートルまでの地域では木造家屋は崩壊し、爆心地付近では鉄筋コンクリートの建物が壊れるほどの被害がありました。しかし、その中でコナリー工廠の煙突は円筒形のおかげで爆風をおよそ避けたままです。



煙突が爆風を受けた様子を上から見た図



8月6日によく咲くヒナゲシの花です。この花を見るたびに広島の人々は涙を流すそうです。

平和公園にあるたぐやんの碑

あいたい橋



↑現在のあいたい橋



平和の火
この火は、手を広げた形をイメージして作られました。この火は、神社から火をもらい、今まで四八年間燃えつづけています。式典には原爆の投下を命じたトルーマン大統領のむすこも参加しました。



↑上空から見たあいたい橋の模型
この橋は上空から見たとアール・バールの「丁」方向から見えます。機の中の人はこの橋を目印として原爆を落としました。



韓国人の墓
被爆し、七千名の人々の中で韓国人は二万人以上います。この形は韓国のことわざで「かめにきて旅に出ていけうになて天にのぼる」という意味です。また、この碑は韓国の方向を向いています。式典はまた韓国人の生き生きとした姿、八月五日に行われま



↑回生室

ヘルをさしたり、手術室に接する。部屋にいます。

美は一日にしてならず

ヤマサキでは、海藻をテーマに製菓品を作り、お客様に感動と満足を提供しています。ヤマサキの製菓品には全て「La.Sana」と書かれています。これはイタリア語で「健康的で美しい女性」という意味を表しています。



毎食には、ミネラル・カリウム・鉄・ナトリウム・ビタミンB・ビタミンCなどが含まれています。保水力があつたので肌にハリがあります。また、ヤマサキではフランスのブルターニュ産の海藻が使用されています。



↑ビーコンガール

通信販売で注文された商品を店頭で販売している。箱に貼る。

まとめ

広島研修へ行って、原爆のおそろしさを当時の様子で改めてよくわかりました。それでも前を向いて生きようとする広島の人はずいぶん思いました。企業研修では今まで全く見たことのない企業のことを知ることで、これら類に自分の将来をしっかりと考えていこうと思います。